

富士労働基準監督署長あいさつ

本日予定されておりました全国安全週間説明会が、台風の接近により参加者の安全を考慮し中止となったことに伴い、本書面にてメッセージをお送りさせていただきます。

さて、7月1日から7日まで第99回全国安全週間が始まります。

本年度のスローガンは、『多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場』です。

現在、多くの職場では、高年齢労働者、外国人労働者、経験の浅い作業員など、様々な人材が働いています。それぞれが経験や知識、言葉や文化に違いがある中で、安全を確保するためには「誰かがやる」のではなく、「全員が自分のこととして参加する」ことが重要です。一部の管理者や担当者だけでなく、職場で働く一人ひとりが、自分自身のこととして安全に向き合い、危険に気づき、お互いに声を掛け合い、ルールを守ることで初めて安全な職場が実現します。

富士労働基準監督署管内においても、転倒災害、墜落・転落災害、はさまれ・巻き込まれ災害など、基本的な安全対策を徹底することで防げる災害が依然として多く発生しています。

今年の安全週間を単なる行事として終わらせるのではなく、自分たちの職場を見直す機会として活用していただきたいと思います。危険箇所はないか、作業手順に問題は無いかな、新人や協力会社の方々まで含めて安全が共有されているかな等、この機会に改めて確認をお願いいたします。

最後になりますが、安全はすべてに優先します。

全国安全週間を契機として、さらなる安全活動の推進をお願い申し上げます。

結びに、富士労働基準協会の皆様の益々の御発展と御健勝、労働災害ゼロを祈念いたしまして私からの挨拶とさせていただきます。

令和8年6月3日

富士労働基準監督署長 小島 亮士